

コロナ禍の中学校生活

ベイタウンのみなさんこんにちは。私は打瀬中学校 2 年生の軽部航太郎と申します。打瀬中のコロナ前コロナ後で変わったことを紹介します。【軽部】

給食の変化

給食といえば皆で班にして、しゃべりながら食事をする。この給食もコロナ前と後で一変しました。サイレント給食という新しい制度がとられたからです。サイレント給食では配膳は消毒をした一部の人のことや喫食時は前向きで黙って食べるなど厳しい制約があります。生徒の私にとってはとてもさみしいですが、新型コロナウイルス感染予防のため守らなければならないと思います。



給食では前を向いて、しゃべらずに食事しています。

教室内的変化

教室にも変化が起きました。打瀬中学校といえば「教科センター方式」と言って先生が生徒のところに行くのではなく生徒自身が移動するという大学のような面白い制度がとられています。しかし、感染予防という点から、現在は HR 教室という HR を行うための教室で授業を受けています。また、教室内のドアや窓をすべて開けての授業を行っています。

授業内容への変化

授業のやり方にも変化が起きました。例えば理科の実験。これは感染予防という観点からできません。代わりに今年度から導入された新しい「ICT 教材」を使用して授業を行っています。理科の場合は動画配信サイトの実験動画を見て学習を進めています。そのほかにも家庭科の調理実習の中止やグループワークの禁止など授業への障害は大きいと思います。

部活動への変化

部活動のやり方にも変化が起きました。今回は吹奏楽部取材し、どのように変わっているかを見てみたいと思います。吹奏楽部を訪れると楽器の消毒をしていました。専用の消毒剤を使い消毒をしているそうです。演奏の間にはマスクをつけ、合奏は禁止だそうです。また、一番大きな課題は休校による 3 か月のブランクだそうです。千葉市では「部活動再開ステップ」というのが設けられ、徐々に練習内容が緩和されています。しかし、今まで通りの部活動を行うにはまだ時間がかかる模様です。

保護者の方の協力

「コロナ禍の中の学校運営には保護者の方の助けが必要」と屋代校長先生は言います。実際に放課後保護者の方が来校され、机やイスなどの備品の消毒作業をしていただいています。また、有志の方がマスクと消毒液を寄付していただきました。私たち生徒は保護者の方や先生の協力への感謝をしながら学校生活を送りたいと思います

コロナの前と後 【打瀬中学校 2 年 小川新之助】

コロナが今までの日常を奪ってしまった。

不要不急の外出は控える。マスク着用。学校休校。

僅か 2 ヶ月程度の間コロナが原因となって今までの生活が出来なくなってしまった。最近徐々に今までの生活に戻ってきたというのに、感染者がまた増加するなどまだまだ雲行きは怪しい。

では、コロナは悪い影響しか私達に与えていないのだろうか。もちろんコロナは人の命を奪っているし、今までの日常を奪ってしまった。しかし、その反面、良い事もあるのではないだろうか。

今まではインターネットが発達してきたのにも関わらず、余りそれを活用出来ていなかったと思う。だが、コロナの影響でインターネットを最大限に活用出来るようになった。

そのせいか、ここ最近では zoom というのをよく耳にするようになった。皆さんも 1 度は聞いたことがあるのではないだろうか。zoom は今や様々な所で活用されている。

塾や学校の授業を受けるにも zoom。握手会も zoom(果たしてそれは握手会と呼べるのだろうか)。会議も zoom。などなどわざわざその場所に行かなくても娯楽を楽しんだり、仕事も出来るようになった。これは賛否両論あるが、自分はとてもいいことだと思う。学校や塾、職場などに行く時間が短縮され自分の時間を作れるからだ。他にも今までより良くなったことがあるが、いまは置いておく。

そんな良い事も、もたらしてくれたコロナだが、終息してほしいという事には変わらない。



教室では、間隔をあけて着席をしています。

コロナ禍のベイタウン。今月は打瀬中学校の許可を得て、同校 2 年生の軽部君と小川君の 2 人に学校生活の様子を記事にしてもらいました。

コロナ禍の図書館



研究によると、ウイルスは物体の表面に付着すると時間の経過とともに死滅します。それを待つために、返却された本は、3日静かにここでお休みしています。

一時は治まるかと期待した新型コロナウイルス、再び黄色信号となり、予断を許しません。爆発的に増えないことを祈りつつ、先月のコアの状況報告に続き、図書館の今とこれまでの様子をお伝えします。 【小原】

千葉市立の図書館は、まず3月3日～16日まで館内の利用が制限され、資料の返却や予約した資料の貸し出し等はできませんでしたが、書棚への立ち入りや閲覧は制限されました。その後制限が緩められ、4月上旬までは1日300～400人の利用が戻ってきました。

その頃は利用時間制限なしで、今では当然となったマナーを守ることが求められていましたが、カウンターの中では利用者のある変化に気づきます。図書館からの「お願い」のプリントで、「目・口・鼻などを触った手で、図書資料（新聞、雑誌など）を閲覧しないようお願いします」という注意事項があります。ところが、これは何気なくしてしまう動作。例えば、ページをめくるために指をペロツとしてしまう行為も含みます。それを目撃した利用者が職員に相談するなど、衛生状態について気にかける人が増えたと感じたそうです。

そして、4月8日の緊急事態宣言による臨時休館に入ります。それでも、日々の業務を滞らせてはいけません。インターネットでの予約は日々増えていき、打瀬分館だけで最終的に500冊以上たまりましたし、ブックポストで返却された本の滅菌作業なども毎日の仕事として増えました。利用者からの様々な電話の問い合わせの対応や、再開館のための準備も進められていきました。

段階的に制限が緩められ、ようやく利用者が書棚へ入って閲覧できるようになったのは6月2日から。1回30分以内という制限から、現在は60分以内になっています。閲覧席は写真のとおり、以前ソファでゆったりできたところが、間隔をあけて椅子が配置されている状態。席数が減りました。他にも、入館する際には手指の消毒と入館票の記入も必須です。図書館のしつらえは各館違いますから、それぞれの状況に合わせた貸し出しカウンターのビニール

シールドを手作りで設置。動線を考えて密にならないよう足跡マークで人の流れをコントロールしてあります。

皆さん心配なのは、他人が触れた本や雑誌などのウイルス対策はどうなっているか、ということでしょう。まず来館者の手指消毒が大前提。また、返却された本を3日別置きして滅菌の時間をとっています（奥の調べ物用のスペースを転用中）。急ぐときには本にも使える洗浄液を使うこともあるそうです。その他に、人が触るところや筆記用具も消毒を頻繁にしています。私が取材した日は第3木曜日の休館日でしたが、職員さんが棚を拭いて回っていました。

7月の半ばを過ぎたこの時期でも、図書館は開いているのか、という問い合わせがあるそうです。それは、目に見えないウイルスへの恐怖が人の心を萎縮させている現れだと思います。その心配を払拭するべく

アガパンサスの花

6月から8月にかけてベイトウンのあちこちで見られるアガパンサスの花。薄紫や白い花がとても美しく、新しい花なので珍しさもあってよく目につきます。聞くとこの花はアフリカが原産とのことで、日本に古くからあるアジサイと時期や大きさが似ていて、さながら「梅雨時の花は私」と言っているかのようです。

ところでこの花はベイトウンの中心部、プロムナードやヴァレンティン通り（旧富士見通り）周辺では見られません。ベイトウンでこの花が見られるのはセントラルパークイーストとサウスコート、19番街周辺。駅付近ではWBG前とそれから幕張海浜公園内の駅へと向かう通路にも少し咲いています。

花が好きな友人によると、実はこの花がこの街で見られるようになったのは比較的

職員の方々は、最大限の作業をされ、皆さんが安心して図書館を利用できるように努力しています。どうぞお越し下さい。

これからのことですが、月1回第4（5）木曜日に開催の「おはなし会」は、できる範囲で開いていく方針だそうです。ただ、コアのホールで毎年恒例の「絵本の音楽会」はなかなか難しいとのこと。

今回、美浜図書館打瀬分館の職員宗形美奈子さんに状況を教えてもらいました。宗形さんは、この渦中の4月に市内の図書館から転任されたばかり。もう何年も市内の図書館で勤務している宗形さんでもこんな事態は始めてで、わからないことが多く手探り状態でした。東日本大震災とはまた違った大変さだとも。そして取材の最後に、「図書館からざわめきがきこえなくなりました」と、今の館内を表現しました。

図書館は、静かであればあるほど良い、と私は思っていたので、意外な感想です。よく考えると、人は緊張すると息をひそめるもの。時間や人との距離を気にしながらの滞在は、のんびりできません。コロナ禍前、リラックして本や雑誌を楽しんでいるときの自然な息づかいによる気配を、司書の皆さんは毎日感じていたのでしょうか。子どもの寝息を聞いて安心する親のように。

長丁場となったコロナ禍。安心して図書館で憩い、本を楽しむことが早くできるようになってほしい、ここからそう思うのでした。



新しく、古い中層街区の建物の周辺では見られないとのこと。確かに僕の記憶でも、セントラルパークイーストが出来た頃、ケヤキ並木で初めてこの花を見たような気がします。ベイトウンに咲く花々にも歴史があるのだと思いました。



CPE、CPWのケヤキ並木に咲くアガパンサス。

街角の花壇はふれあい広場

先月のベイタウンニュース配布会のとき、4番街のIさんから「赤玉青玉公園付近の緑地で、いつも花壇を手入れしている人がいる。通りがかりの人が声をかけたり、子どもが集まって楽しそうにしているの、一度取材してみたら？」と声をかけられました。こういう情報提供は大歓迎です。期待して待っていると1週間ほどした7月11日の夕方になって、「今、花壇で作業しているからカメラ持って来て」と電話がありました。早速自転車で行ってみました。

現場は4番街に面した駐車場沿いの緑地部分の花壇です。手入れをしていたのはNさんご夫婦。4番街に住んでいる訳ではないのですが、緑が好きで花壇づくりのようなことができればと思っていたところ、この花壇を管理している商店会の方から手入れと管理を依頼されたということでした。

この花壇、もともとは企業庁が駐車場を整備するときに、植え込みではなく住民の方が楽しめる「ミニ花壇」にしたものです。現在はこの駐車場はベイタウン商店会が千葉県より委託されて管理しています。

Nさんご夫妻がこの花壇の手入れを引き受けたのは4年ほど前。当時、花壇には雑草が生え誰も世話をする人がない状態でした。もともと農業や土いじりが好きだった

Nさんにとってはこれは渡りに舟です。さっそく「管理人」として採用(?)され、ボランティアで緑地の草むしりからはじめました。Nさんによると、ひとくちに「土いじり」といっても人によってやり方はさまざまで、Nさんは園芸よりもどちらかというと農業に近いそうです。花も好きですが、それよりも作業が好きで、その過程で子どもたちや多くの人と交わることが楽しみです。ですから育てられている植物はアサガオやヒャクニチソウ、モミジなど季節の花もありますが、メロン、ヤツガシラ、ナス、ミニトマト、オクラ、キュウリとどちらかといえば野菜系。もっともこれは出来上がった「実」を食べるのが目的ではなく、野菜系の植物の花を楽しむことが大きな目的。だから訪れた日もキュウリが人間の腕ほどの太さになるまで成長していましたが、収穫もされずにそのままでした。

こんなこだわりがあるので、この花壇はいつも何かの花でいっぱいという状態ではなく、花がな

いときもよくあるそうです。ただそれでも花壇がいつも手入れをされ、ときには土が掘り返されて黒くむき出しになっていたりして、人の手が入っていることを傍を通る人に気付かせています。そしてこの花壇の植物には、よく見ると名前といつ植えたかを平仮名で書いた札がていねいに記されています。これも子どもたちにどの草花がいつ植えられて、どんな風に成長しているかに気付いて欲しいという思いからだそうです。

この花壇は赤玉青玉公園の隣、駐車場と4番街に挟まれた歩道に沿ってあります。作業はほぼ週1回のペース。運良く作業しているNさんに会えればラッキーです。花や植物の楽しい話が聞けますよ。



ベイタウン・コアの月下美人

7月9日の夜、コアの廊下で育てていた鉢植えの「月下美人」に花が咲きました。この花はご存じの通り、夜中に開花して翌朝にはもうしぼんでしまい、咲いている姿を目にするのが難しい植物です。

5年ほど前に4番街の鎌田さんが家で育てていた月下美人をハチのまま公民館に寄付し、それを同じく花が好きな事務員の藤谷さんが大切に育て、毎年花を咲かせるようになりました。しかし開花するのは毎年夜中、公民館が閉まっている時間帯のときが多く、今日は咲きそうだなと蕾をみて思ってもいつも帰る頃にはまだ咲かず、朝になって出勤してしぼんだ花を見るということの繰り返しでした。

それが今年は運良く(?)、公民館が閉館する夜9:00少し前に花を付けました。毎日観察していた藤谷さんには、今日は咲きそうだというのが分かっていたので、鎌田さんと公民館で花の咲くのを待ちました。そして開花を確認してすぐに花が好きな人数人に「咲いた」と連絡を流し、それが駆け巡って20人ほどの花好きが夜中にコアに集まったという次第です。

しかもこの月下美人、今回は7輪もの大きな花を付けたようで、ご覧の通り見事な姿で集まった人の目を楽しませ、最後には花を切り取って集まった人に1輪ずつ差し上げていました。



住民目線で大規模修繕工事を考える

ベイタウンは街開きから27年。第1期2期の1～12番街ではそろそろ第2回目の大規模修繕を計画する時期になっています。そこで問題になるのは決まって積立金の額と妥当性です。果たして現在の積立額で億単位のお金がかかる2回目の修繕工事を乗り切れるのか、またその金額は妥当なのか。これは工事を数年後に控えた番街共通の悩みでしょう。

このとき頼りになるのが長期修繕問題を住民で考える「長期修繕委員会」です。数年に亘って長期に修繕計画を検討する委員会は修繕工事だけでなく、マンションのコミュニティを考えるうえでもとても重要です。

ベイタウンニュースでは、この問題を考えるためにフォーラムを開くことになりました。第1回は千葉県マンション管理士会にお願いし、専門家による講演と意見交換を行います。

日時：8月16日(日) 午後2:00～

場所：ベイタウン・コア 講習室

参加費：無料

コロナ対策のため定員を先着20人とさせていただきます。予約は不要ですが、確実に出席したい場合は打瀬公民館(Tel: 296-5100)にてご予約ください。この会がベイタウンマンションの長期修繕計画に資することを願っています。



つどいまなびつなぐ

ベイタウン・コア / 公民館通信

電話 296-5100

公民館の「夏の体験教室」、9月の教室は、いわゆる「三密」を避け、新しい生活様式のもとでの講座となります。手指の洗浄、マスク着用、人数制限下での開催ですが、皆さまの参加を心よりお待ちしております。

●館長イチ押し！夏の体験講座～8月2日受付開始

その2：エコバックを作ろう！

日時：8月21日（金）

10：00～12：00

場所：打瀬公民館工芸室

講師：生活協同組合コープみらい

千葉県本部職員

対象：小学1年生～6年生（定員：先着12名）

材料費：500円



その3：勾玉（まがたま）を作ろう！

日時：8月22日（土）

13：00～15：00

場所：打瀬公民館工芸室

講師：埋蔵文化財調査センター職員

対象：小学4年生～6年生

（定員：先着12名）

材料費：300円



●館長イチ押し！夏の体験講座～8月2日受付開始

その4：わくわくおはなし会

日時：8月23日（日）

10：30～11：30

場所：打瀬公民館工芸室

講師：わくわくおはなし会の皆さん

対象：幼稚園児～どなたでも参加できます（定員：先着12名）

参加費：無料



●9月の体験講座～9月2日より受付開始

親子ふれあい教室～親子で楽しく遊びましょう！

日時：9月23日（水）、30日（水）

A 9：50～10：50

B 11：00～12：00

場所：打瀬公民館講習室

講師：UFO キッズ美嶋先生

対象：1、2歳児と保護者（定員：A8組、B8組）

参加費：200円（2回分）



大人の科学工作教室～星の動きを工作と実験で確かめよう！

日時：9月26日（土）

14：00～15：30

場所：打瀬公民館工芸室

講師：「くらりか」の皆さん

対象：成人（定員：先着12名）

参加費：300円



◇申込方法

9時から直接打瀬公民館窓口または電話で申込

〈問い合わせ〉打瀬公民館 電話：296-5100

※状況により中止の場合があることをご承知ください。

今年もあります 夏休みラジオ体操

コロナのせいで夏休みが短くなってしまいましたが、今年も「夏休みラジオ体操会」があります。元気に参加しましょう。

夏休みラジオ体操日程（朝6時半からです）

第1期：

8月8日（土）、9日（日）、10日（月）打瀬小学校

第2期：

8月17日（月）、18日（火）、19日（水）海浜打瀬小学校

第3期：

8月20日（木）、21日（金）、22日（土）美浜打瀬小学校

6年生リーダーの特別練習は7月18日（土）、7月25日（土）、8月1日（土）朝6：00から海浜打瀬小プール下のピロティで行います。

8月のベイタウンかふえ

皆様お元気ですか。

8月のかふえは当初の予定通りお休みです。

9月9日（水）に「ベイタウンかふえ」を開催できることを祈って、そして皆さまと笑顔で再会したい！との思いで、様々な感染予防策を考えています。

問い合わせや、連絡等がありましたら、

うたせ認知症を考える会

中澤（TEL：211-0588）までどうぞ。

8月のコア・イベント

寺子屋工作ランド

「ぶんぶんごま」

日時：8月22日 第4土曜日 午前9：30～11：30

場所：ベイタウン・コア工芸室

ぶんぶんごまにいろをつけて回してみよう。

どんないろになるだろう。

持ってくるもの：はさみ、えんぴつ、クレヨン、いろがみ、サインペンなど

参加費：50円（保険料）

第193回ファッティオリの会

日時：8月23日（日）午前9：30～11：30

場所：ベイタウン・コア音楽ホール

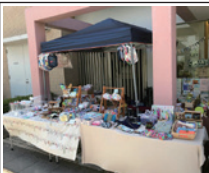
フルコンサートピアノ「ファッティオリ」の演奏やその他の楽器演奏をして頂けます。ただし、今回もコロナウイルス感染拡大防止対策として、歌唱、金管楽器演奏は行えません。また入場人数の制限、演奏中も換気のためホールドアを開放など新しい形での開催となります。担当者の指示に従って、ご参加頂きますようお願い申し上げます。非公開でのご利用も受付けております。

最新の情報は <http://www.baytown.ne.jp/core/> をご覧ください。

申込締切：8月16日（日）

申込先：masamisato-utase@ezweb.ne.jp（佐藤）090-9315-8079

キュービックカフェ8月のイベント・ワークショップ



毎月9日はキュービックの日！『キュービックマルシェ』

8月6日（木）／8月8日（土）出張マルシェ@ベイパーク

（予定）9月8日（火）いずれも11時～16時

イベント最新情報・お問い合わせは

キュービックカフェホームページ：

<https://www.cubic-cafe.com/>

